



PEACEBOAT PEACE おりづるプロジェクト

ヒバクシャ地球一周 証言の航海

Global Voyage for a Nuclear-Free World
PeaceBoat Hibakusha Project

ピースボート

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

TEL03-3363-7561 FAX03-3363-7562

2016年11月29日

第9回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」 プロジェクトの概要とその成果

- クルーズ 第92回ピースボート「地球一周の船旅」
- テーマ 「世代と国境をこえた継承——核兵器の禁止へ」
- 期間 2016年8月18日(木)～11月29日(火) 横浜発着 計104日間
- 寄港地数 21カ国 25寄港地
- 使用客船 オーシャンドリーム号
- 参加者
 - 被爆者 5名(内訳: 広島被爆2名/長崎被爆3名)※参加被爆者は「非核特使」に委嘱
広島被爆: 森川高明、坂下紀子
長崎被爆: 深堀譲治、深堀俊子、田河豊子
 - 被爆二世 1名 東野真里子(広島) ※参加被爆二世は「非核特使」に委嘱
 - 継承者 1名 橋光生(広島在住)(部分参加: 横浜～マンサニョ)
※参加継承者は「非核特使」に委嘱
 - ユース 2名 山崎御園(東京都出身)、寒川友貴(兵庫県出身)
※参加ユースは「ユース非核特使」に委嘱
- 証言活動 13カ国 17都市にて実施
- 後援 広島市/長崎市/平和首長会議/日本原水爆被害者団体協議会
公益財団法人広島平和文化センター/公益財団法人長崎平和推進協会
- プロジェクト通称 おりづるプロジェクト
- 主な活動と成果

①核兵器の非人道性を訴え、国連での核兵器禁止条約の交渉開始決議に向けて、多くの政府に働きかけ、世界的な核廃絶への機運を高めた。

- ・ マレーシアの外務省多国間問題局事務次官と面会した。
- ・ ギリシャの外務副大臣と面会。国会で全ての党の代表の前で証言した。
- ・ イギリスの国会議事堂で上院議員に向けて証言と意見交換をした。
- ・ ベルギーの外務省軍縮担当者と面会した。
- ・ オランダの外務大臣と面会した。
- ・ 国連第一委員会のサイドイベントで「軍縮における被爆者と若者の役割」を議論した。
- ・ ヒバクシャ国際署名を広く呼びかけ、世界の都市及び船内において約500筆集めた。

②市長、州知事、学校などの受入れのもと、核廃絶への連帯を呼び掛けた。

- ・ ギリシャのサントリーニ市役所にて市長に面会した。
- ・ ロンドン周辺の平和首長会議加盟都市のシンポジウムに参加。学校で証言会を実施した。
- ・ レイキャビク市役所にて市長や地元市民らに向けた被爆証言会を実施した。
- ・ ニューヨークの国連インターナショナルスクールとアートイベントにて被爆証言会を実施した。
- ・ メキシコのコリマ州知事とマンサニョ市長の受入れで幅広い層の人々に被爆の実相を伝えた。
- ・ 世界6カ所で平和首長会議の原爆ポスターセット及び、広島市、長崎市両市長からのメッセージを届けた。その他、15都市の政府、議員、市民団体、学校などに両市長からのメッセージを届けた。

③様々な表現を用いた被爆体験の継承方法を実践した。

- 被爆二世が被爆者である親から聞いた話や、継承者が学んだことを通して、被爆の実相を語ったり伝えたりすることができることを実証した。アイスランドで被爆二世の東野さんは、証言者として祖母と母の記憶を語ることで共感の輪を生み、船内では継承者の橘さんが「被爆の実相を学ぶ勉強会シリーズ」を行い意識を高めた。
- 被爆者とユースが協力して被爆証言会を企画、開催した。ユースによる若者を対象にした連続ゼミ講座や詩の朗読など多様な表現を用いて継承活動に取り組んだ。
- 世界の様々な国からの参加者に向けて被爆証言を実施した。(参加者の出身国: 中国、韓国、スリランカ、タイ、イラン、米国、アイルランド、オーストラリア、ノルウェー、フランス 他多数)
- 元国連軍縮部上級政務官のランディ・ライデルさんとトルーマン米大統領の孫のクリフトン・トルーマン・ダニエルさんから核兵器をめぐる世界の情勢を学び、人道性を欠く核兵器が三度人類の上に使用されないように共に行動することを誓い合った。

●参加被爆者 略歴



深堀 讓治（フカホリ・ジョウジ）

長崎被爆 1931年1月3日生まれ 被爆当時14歳
長崎県長崎市在住

爆心地より3.3km地点の兵器工場内で被爆。自身に怪我はなかったものの、爆心地より600mの自宅にいた母親、2人の弟、1人の妹を亡くす。2006年より長崎平和推進協会の平和案内人として、原爆資料館内・被爆遺跡の案内に従事。長い間被爆体験は語ってこなかったが、被爆の実態を伝えていく必要性を感じ2009年より証言活動を始めた。国内のみならずロシアなど海外でも被爆体験を語っている。



深堀 俊子（フカホリ・トシコ）

長崎被爆 1934年9月28日生まれ 被爆当時10歳
長崎県長崎市在住

爆心地より2.7km地点にある自宅で被爆。直接的な被害としては傷を少し負っただけだった。2010年、自身の同窓会をきっかけに証言活動を開始。また被爆者歌う会「ひまわり」に所属し、長崎市内の学校にて歌を用いた平和活動を行なっているほか、2015年にはドイツ公演にも参加。夫である深堀讓治さんとともに、国内外で証言活動をしている。



森川 高明（モリカワ・タカアキ）

広島被爆 1939年5月4日生まれ 被爆当時6歳
広島県広島市西区在住

黒い雨による被曝（爆）とその後の放射能汚染された飲食による被曝。当時、爆心地から300mの天神町北組（所）に住んでいたが、原爆投下の5カ月前に佐伯郡八幡村に疎開。肺炎を患い、爆心地から10kmの病院に入院していたため直接被爆を免れた。被爆体験証言活動は日本国内にとどまらず、アメリカを中心にイギリスやニュージーランド、オーストラリアでも証言し、核のない世界のために活動をしている。



田河 豊子（タガワ・トヨコ）

長崎被爆 1939年5月8日生まれ 被爆当時6歳
大分県大分市在住

爆心地より9.2km地点の疎開先で被爆。水を飲むために防空壕から外に出た直後であった。爆心地から500mの長崎医科大学にて授業中に被爆した兄は、高熱と痛みにもがき苦しみ、家族に見守られながら10日後に息を引き取った。自身に外傷はなかったが、学生時代は貧血に苦しんだ。その後、肺の切除や子宮摘出等の多くの手術を経験。これまで、新聞への投稿やテレビにて被爆体験を語ってきた。



坂下 紀子（サカシタ・ノリコ）

広島被爆 1943年6月22日生まれ 被爆当時2歳
埼玉県所沢市在住

爆心地から1.4km地点の自宅にて被爆。強烈な爆風で数m飛ばされ、落ちてきた柱の釘で額を切る等の被害を受けた。その後、町の中を避難して黒い雨を浴びる。2014年の第7回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」参加後、国内のみならずNPT再検討会議・日本被団協代表団として、ニューヨークなどで証言活動の幅を広げている。自身の体験に加え、母親など親族の被爆体験も彼らの記憶を通じて話している。

●参加被爆二世 略歴



東野 真里子（ヒガシノ・マリコ）

広島被爆二世 1952年9月10日生まれ
広島県広島市安佐南区在住

母（当時17歳）が爆心地から3km地点の自宅、祖母（当時42歳）が1.8kmの船入病院にて被爆。広島市の被爆体験伝承者養成事業に参加し、2015年「被爆体験伝承者」に認定された。被爆者が高齢化していくなか、二度とあやまちを繰り返さないという想いを継ぎ、2世の言葉として世界へ発信したい。

●参加継承者 略歴



橘 光生（タチバナ・ミツオ）

継承者 1941年1月23日生まれ
広島県広島市南区在住

「平和のために微力であっても何か自分にできることはないか」という思いから、2005年より広島平和記念資料館のピースボランティアとなった。資料館や平和記念公園の解説やガイドを行なっている。6カ月の研修を経て現在に至るまで、国内外を問わず原爆の悲惨さを伝える活動に尽力。広島市の被爆体験伝承者養成事業に参加し、2016年「被爆体験伝承者」に認定された。

●参加ユース 略歴



山崎 御園（ヤマザキ・ミソノ）

東京都出身、東京都立川市在住、21歳

幼少時に子供劇団でミュージカル舞台に立ち、戦争を題材にした作品にも取り組む。小学6年生の時に広島原爆ドームを訪れ、初めて戦争を身近に触れ衝撃を受ける。高校卒業後、再び演劇の道を目指し、演劇集団「円」の研究所で2年間演劇を実践的に学ぶ。現在、被爆の実相を継承していくことを主題に、表現者として過去を問い直しながら、未来へ問いかける役者を目指している。



寒川 友貴（サムカワ・トモキ）

兵庫県出身、東京都中野区在住 20歳

10代が政治に興味を持つきっかけをつくるため、高校時代から学生団体の代表として、ワークショップや模擬選挙、出前授業などを開催。「国を作るのは市民である」という考えから、政治啓発活動を行い、未来の有権者の政治意識の向上に尽力。若者と被爆者が協力することで、被爆体験の継承をすすめていきたい。また、核問題に関心がない層に対しては、イベントの敷居の高さを取り除き、参加しやすい企画を提案していく。

●寄港地での活動

8月22日 台湾(基隆)

活動都市: 貢寮

発言者: 田河豊子さん(証言会/約15名)

現在、台湾の市民が稼働中止を強く求めている第4原発を訪れ、共に抗議アピールも行った。現地の反原発団体「Last Push」の受入れで、原発をテーマにした証言会。被爆証言を初めて聞く人ばかりで、被爆者の声に真剣に耳を傾けていた。Last Pushからは現在の反原発運動の流れや、第4原発の歴史や計画内容などを聞き、それらを踏まえての意見交換が行われた。

8月28日 シンガポール

活動都市: シンガポール

発言者: 深堀讓治さん、坂下紀子さん(証言会/30名)

国立博物館を訪れ、シンガポールの歴史、文化、また日本が行った加害の歴史について学んだ。その後、アジア欧州財団にて証言会。「なぜ地球一周してまで証言をするのですか？国レベルではなく、地球市民としてのアイデンティティを持っているからでしょう」というシンガポール国連協会副会長の印象的な問いから始まった。戦争の被害国と加害国という立場を超えて高校生との交流もできた。

8月29日 マレーシア(ポートクラン)

活動都市: クアラルンプール

【グループ1 外務省での会談】発言者: 深堀讓治さん(会談/4名)

【グループ2 大学での証言会】発言者: 森川高明さん(証言会/15名)

マレーシアでは2つのグループに分かれて活動を実施。1つ目のグループは外務省を訪問し、多国間問題局の事務次官と核兵器禁止条約へむけての意見交換。2つ目のグループはマラヤ大学にて、学生と教職員へ証言会。英語での被爆証言だったため、生徒たちも熱心に聞いていた。その後、同じくユース非核特使を委嘱された学生に出会い、ユースにとっても刺激を受ける証言会となった。

9月3日 インド(コーチン)

活動都市: アルワ

発言者: 森川高明さん(セレモニー/約100名)

YMCA 主催の平和会議に参加。市民団体の平和活動家、地元の有力政治家、司教などが平和についての思いを述べ、その後に被爆証言を実施。音楽隊などの歓迎もあり、厳かなムードの中で行われ、学生たちのほとんどは被爆証言を聞くのが初めてだったため、証言会後には積極的に質疑応答が行われた。

9月16日 ギリシャ(ピレウス)

活動都市: アテネ、ピレウス

発言者: 深堀讓治さん(会談/14名) 森川高明さん(国会での証言/60名) 深堀俊子さん(ピースセレモニー/約500名)



外務省を訪問し、外務副大臣と面会。ギリシャは核廃絶にあまり積極的ではない国なので、被爆者の発言は意味のあるものになった。その他に、受け入れ団体の PADOP(国際団体とグローバルゼーション研究所)のパノス・トリガツィス氏、ノーベル平和賞受賞団体であるインターナショナル・ピース・ビューローのクリン・アーチャー氏と平和に対する思いを共有した。次に国会を訪れ、ギリシャの全党代表の前で証言。その後に行われた各党からの発言は証言会を踏まえ、核政策についての激しい議論となった。ピレウス港で行われたピースセレモニーでも、被爆者の声を届けた。

9月17日 ギリシャ(サントリーニ島)

活動都市: サントリーニ

発言者: 田河豊子さん(市役所訪問・証言会/20名)

サントリーニ島で平和教育を長年実践してきた教諭からの強い希望で、同島で初めての証言会が実施された。市役所に市長を訪ね、関係者や小学生と面会。平和をテーマにした歌の披露があり、共に植樹をするなど、平和への願いを共有した。

9月25日 スペイン(バルセロナ)

活動都市: バルセロナ

発言者: 坂下紀子さん(市庁舎での会談/3名)(カタルーシャ州外交部での会談/1名)

バルセロナ市で人権保障を推進している市民権担当者と面会。「核兵器については市としても意見の対立はあるが、広島や長崎の被害のことを忘れずにいたい」との力強い言葉を頂いた。州政府外交部にて外交部長と面会した際は、「被爆を教科書の1ページではなく、どのようにこれから生きる若者に伝えていくか」という具体的な意見交換ができた。

10月3日～4日 イギリス(ティルベリー)

【1日目 シンポジウム】発言者: 深堀譲治さん、東野真里子さん(シンポジウム/80名)

【2日目 国会議事堂と学校】発言者: 森川高明さん(証言会/80名)、全員(学校での証言会/140名)

活動都市: ロンドン

1日目、ロンドン周辺の平和首長会議加盟都市で行われるシンポジウムにて証言とパネルディスカッション。今年、議会の投票で可決された核弾頭ミサイル・トライデントの更新に対する質疑応答が多く見られた。またイギリスのメイ首相に対してメッセージも求められた。

2日目、国会議事堂にて上院議員にむけての証言会。その後、高校を訪問し、クラスごとに証言。少人数での証言会だったため、顔をきちんと見合わせて話す時間が設けられた。

10月5日 ベルギー(ゼーブルージュ)

活動都市: ブリュッセル

発言者: 森川高明さん(会談/1名)

ベルギーの首都であり、また NATO の本部、EU(欧州連合)の本部もあるブリュッセルを訪れ、外務省の軍縮担当者と面会。被爆者の証言後、ベルギーという国の視点で核廃絶に動き出すことの困難さを知った。だが、「政府として核兵器禁止条約締結へむけて動き出すべきだ」と力強い言葉を頂いた。社会的な課題を掘り下げて報道する雑誌の大きく取り上げられた。

10月6日 オランダ(アムステルダム)

【グループ1 活動都市: アムステルダム】発言者: 田河豊子さん(証言会/75名)

【グループ2 活動都市: ハーグ】発言者: 森川高明さん(外務大臣との面会/2名)

【グループ3 活動都市: ハーグ10月4日～6日】坂下紀子さん、東野真里子さん(証言会/約25名)

3つの活動を行った。1つ目は、平和団体 PAX 主催のイベントにて被爆証言。質疑応答の中で「オランダの若者にメッセージは？」と問われ、「世間体を気にせずに、勇気を持って、自分の意見を述べて欲しい」と答えた。日本だけでなく、オランダの若者にも勇気ある行動を求めたことが印象的であった。2つ目は、被爆証言をした上で、外務大臣に核兵器禁止条約の交渉開始を求める国連の決議を支持するよう、現地の平

和団体 PAX のメンバーと共に要請した。3つ目は、2014年4月24日、マーシャル諸島が核保有国に対して「国際法上の核軍縮義務に違反している」とハーグの国際司法裁判所に提訴したが、その判決を傍聴。結果は原告側の敗訴だったが、その後のメディアインタビューで坂下さんは「泣いて、賛同してもらっただけではだめ。核を禁止するきまりをつくる権限のある人たちの一票を、多く勝ちとらなければいけない。」とあきらめない姿勢をみせた。オランダの国会でも証言して議員に声を届けた。



オランダ バート・クーンデルス外務大臣と

10月12日 アイスランド(レイキャビク)

活動都市:レイキャビク

発言者:東野真里子(証言会/100名)

アイスランドの持続可能エネルギーを知るためにヘットリシェイディ地熱発電所を見学し、再生可能エネルギーについて学んだ。冷戦終結のための会談で、核軍縮プロセスの出発点となった「レイキャビク会談」のあったホフディハウスを見学し、レイキャビク市庁舎にて証言会。レイキャビク市長は昨年のおりづるプロジェクトで証言を聞いて以降、核廃絶に向けてさらに力を入れている。地元アーティストのアトリエを訪れ、原爆ドームの瓦礫から作られた彫刻に対面し、こんな遠い国に来て原爆ドームの瓦礫に出会うなんて、と感動する被爆者の姿が印象的だった。



10月20日～21日 米国(ニューヨーク)

【1日目 国連と船内イベント】発言者:森川高明さん(国連イベント/50名)、坂下紀子さん(船内イベント/約500名)

【2日目 学校とアートイベント】発言者:深堀讓治さん(国連インターナショナルスクールでの証言会/約50名)、橘光生さん、深堀俊子さん(ナショナルソーダストでの証言会/100名)

活動都市:ニューヨーク

1日目、寄港時に国連本部で開かれていた国連第一委員会のサイドイベントにて証言。イベントはピースボートとマーシャル諸島共和国国連代表部、日本政府国連代表部との共催。

マーシャル諸島国連大使、軍縮教育家、被爆者などさまざまな立場の人々が「軍縮における被爆者と若者の役割」というテーマで議論。その後、船内に国連副事務総長などが招待されるなか、「真の意味で核抑止となるのは被爆者の証言だ」と語りかけた。

2日目、国連インターナショナルスクールにて、様々な背景を持った生徒たちに向けて証言。「被爆・核」をテーマにしたアートイベントにも参加。出港時には、数百人の参加者と共にニューヨークの町並みを背景に「核バイバイ」というアクションを行い、その動画を世界的に拡散した。



10月26日 キューバ(ハバナ)

活動都市: ハバナ

発言者: 深堀讓治さん(証言会/約200名)、山崎御園さん(フェスティバル/約200名)、カネル第一副議長との面会(7名)

ラテンアメリカ医科大学を訪問し証言会。スペイン語の映像によって原爆の基礎的な説明をしてからの被爆証言だったため、より多くのことを伝えられた。国家評議会を訪問し、第一副議長と面会。ラテンサルサのフェスティバルでは、参加した市民の前で核廃絶を訴えるスピーチを行った。

11月8日 メキシコ(マンサニージョ)

活動都市: マンサニージョ

発言者: 田河豊子さん(州知事との面会/80名)、坂下紀子さん(証言会/約500名)

マンサニージョ市長やコリマ州知事と地元の幅広い層に証言を伝えた。続いて、高校生を対象に証言会。証言会後には多くの生徒に声をかけられ、被爆証言が生徒たちの心に響いたことを認識。また、メキシコは国として核兵器禁止に向けた動きが高まっているが州レベルになるとまだまだ浸透しきっておらず、根気強く伝え続けて行くことが大切だと実感。

11月18日 ハワイ(ホノルル)

活動都市: ホノルル

発言者: 深堀讓治さん、寒川友貴さん(証言会/20名)

ハワイ大学マノア校にて、太平洋地域の軍事化などを考える市民たちに迎えられて証言。多くの若者に被爆者の生の声を届けることができ、直近の米国大統領選挙のこと、国連での核兵器禁止条約への交渉開始決議などに関する意見を求められた。また、被爆したものとして原発をどう見るか、被爆二世としての思いなど、刺激的な質疑応答が行われた。

【その他の寄港地】

マルタ(バレッタ)、イタリア(チビタベッキア)、イタリア(リヴォルノ)、フランス(マルセイユ)、ポルトガル(リスボン)、フランス(ル・アーブル)、バハマ(ナッソー)、ジャマイカ(モンテゴベイ)、パナマ(クリストバル)、グアテマラ(プエルトケツァル)

●平和首長会議の原爆ポスターの届け先

(広島市長、長崎市市長からのレターも同時に贈呈)

1. マレーシア(訪問日:8月29日)

- ・平和首長会議原爆ポスター(英語): マラヤ大学
- ・広島市、長崎市市長レター: 同上

2. オランダ(訪問日:10月6日)

- ・平和首長会議原爆ポスター(英語): 平和団体 PAX
- ・広島市、長崎市市長レター: 同上

3. 米国(訪問日:10月21日)

- ・平和首長会議原爆ポスター(英語): 国連インターナショナル・スクール
- ・広島市、長崎市市長レター: 同上

4. キューバ(訪問日:10月26日)

- ・平和首長会議原爆ポスター(西語): ラテンアメリカ医科大学
- ・広島市、長崎市市長レター: 同上

5. メキシコ(訪問日:11月8日)

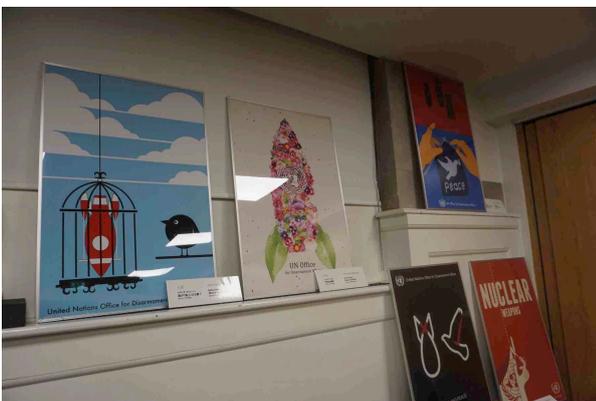
- ・平和首長会議原爆ポスター(西語): コリマ州知事
- ・広島市、長崎市市長レター: 同上

6. ハワイ(訪問日:11月18日)

- ・平和首長会議原爆ポスター(英語): ハワイ大学
- ・広島市、長崎市市長レター: 同上

●国連平和ポスターの展示国

シンガポール、ギリシャ、イギリス、アメリカ、ジャマイカ、メキシコの6カ国にて展示



●船内での活動

《企画一覧》

1. 原爆の被爆の実相を伝え理解を深める

- 証言会：「母の記憶 娘の想い」(8/25)
- 証言会：「特別地球大学生への証言会(クローズド)」(8/26)
- 証言会：「深堀俊子さんの話を聞いてみよう(クローズド)」(8/27)
- 証言会：「おりづる証言会 黒い雨～原爆の恐ろしさ～」(9/11)
- 証言会：「おりづる証言会 一原爆に奪われた家族の命」(9/13)
- 証言会：「スタッフ向け証言会」(9/14)
- 証言会：「イラン・ユース向け証言会」(9/23)
- 展示：「船内・国連平和ポスター展」(10/15)
- 証言会：「深堀讓治 ナガサキを語る」(10/16)
- 展示：「船内・原爆写真ポスター展(原爆と人間)」(10/16)
- 展示：「船内・写真ポスター展(第五福竜丸)」(10/17)
- 証言会：「YMCAからの参加者向け証言会」(10/23)
- イベント：「劇団おりづる公演」(10/25)
- 展示：「ピースギャラリー」(11/21)
- イベント：「ピースナイト ～芸術を通して、想像してみよう～」(11/21)

2. プロジェクトの意義や成果を一般参加者と共有する

- 紹介企画：「92回魅力大航海」(8/19)
- 紹介企画：「チーム紹介企画」(8/19)
- 紹介企画：「はばたけ！おりづるプロジェクト」(8/23)
- 報告会：「おりづる報告会 シンガポール・マレーシア編」(9/1)
- 交流会：「おりづるに興味ある人集まれ」(9/9)
- 交流会：「原爆について聞いてみよう」(9/13)
- 交流会：「船とぼくらの未来会議」(10/7)
- 報告会：「おりづる寄港地報告会」(10/9)
- 交流会：「SOS！おりづるの未来」(10/9)
- 勉強会：「ツアー準備会 レイキャビクVコース」(10/10)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ①」(10/15)
- 交流会：「集合！劇団おりづる①」(10/15)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ②」(10/16)
- 交流会：「集合！劇団おりづる②」(10/16)
- 交流会：「おりづるを折ろう！①」(10/16)
- 交流会：「集合！劇団おりづる③」(10/17)
- 交流会：「集合！劇団おりづる④」(10/18)
- 交流会：「おりづるを折ろう！②」(10/18)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ③」(10/18)
- 交流会：「おりづるを折ろう！③」(10/18)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ④」(10/19)
- 交流会：「集合！劇団おりづる⑤」(10/19)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ⑤」(10/25)
- 交流会：「おりづるを折ろう！④」(10/25)
- 交流会：「おりづるを折ろう！⑤」(10/27)
- 報告会：「おりづる報告会 『その時、国連は揺れたか・・・』」(10/30)
- 交流会：「おりづるを折ろう！⑥」(11/2)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ⑥」(11/3)
- 交流会：「おりづるを折ろう！⑦」(11/3)
- 交流会：「～ゼロからイチへ～ ウータン若者講座、開講します！」(11/5)
- 紹介企画：「おりづるいろいろ⑦」(11/6)
- 交流会：「おりづるを折ろう！⑧」(11/6)
- 交流会：「おりづるを折ろう！⑨」(11/7)
- 交流会：「おりづるを折ろう！⑩」(11/9)

交流会：「おりづるを折ろう！⑪」(11/10)
 交流会：「おりづるを折ろう！⑫」(11/11)
 交流会：「おりづるを折ろう！⑬」(11/13)
 交流会：「おりづる合唱団大募集！」(11/15)
 交流会：「おりづるを折ろう！⑭」(11/15)
 交流会：「おりづるを折ろう！⑮」(11/16)
 交流会：「おりづる合唱団練習①」(11/16)
 交流会：「おりづる合唱団練習②」(11/19)
 交流会：「おりづるを折ろう！⑯」(11/19)
 報告会：「おりづる報告会～太平洋編～」(11/20)
 交流会：「おりづるを折ろう！⑰」(11/20)
 交流会：「おりづる合唱団練習③」(11/20)
 報告会：「Peace Beyond Borders おりづる最終報告会」(11/21)
 交流会：「おりづる合唱団最終練習」(11/21)

3. 戦争や被爆体験の継承について理解を深める

上映会：「おりづる上映会①」(8/30)
 上映会：「『ゼノ かぎりなき愛に』上映会」(8/31)
 講話：「被爆体験を受け継ぐ ～平和な世界を創るために～」(9/2)
 交流会：「\宇井ちゃん&宇井バ劇場/ ピースポート第 92 回クルーズ特別版『ジャングル大帝』」(9/2)
 イベント：「9.11 ピースセレモニー」(9/11)
 上映会：「おりづる上映会② ～渚にて～」(9/11)
 対談：「おりづるユース×GTCゼミ」(9/15)
 上映会：「おりづる上映会③ ～夕凧の街 桜の国～」(9/29)
 交流会：「朗読劇やりたい人集まれ！」(10/10)
 対談：「トルーマン大統領の孫がヒロシマを訪れたわけ」(10/15)
 上映会：「おりづる上映会④ ～HIBAKUSHA～」(10/16)
 上映会：「おりづる上映会⑤ 過去から未来のバトン」(10/18)
 レクチャー：「聞いておこう、戦時中のコト。①」(11/15)
 レクチャー：「聞いておこう、戦時中のコト。②」(11/16)
 上映会：「おりづる上映会⑤ ～黒い雨～」(11/20)
 上映会：「おりづる上映会⑥ (英語上映会)」(11/28)

4. 原発を含めた核に関する問題や平和の問題について理解を深める

講座：「核兵器はなくせるの？」(8/24)
 レクチャー：「政治ってなんだろう？」(8/25)
 対談：「サム×カワサキバチバチ討論」(8/26)
 レクチャー：「教えてアチンさん！」(9/2)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座① ～教育の未来について考える～」(9/4)
 レクチャー：「ウータンのチョイまじトーク① ～原爆投下はどのようにして行われたのか～」(9/5)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座② ～ニュースの読み解き～」(9/6)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座③ ～少子高齢化～」(9/7)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座④ ～尊厳死～」(9/8)
 レクチャー：「ウータンのチョイまじトーク② ～原爆開発-「マンハッタン計画」とは～」(9/10)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座⑤ ～経済と社会保障、そして憲法～」(9/10)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座⑥ ～日本の近代史～」(9/13)
 朗読会：「宇井孝司作品朗読劇『ことば残り』」(9/15)
 レクチャー：「サムのわくわく政治講座⑦ ～原爆と世界の核政策～」(9/15)
 レクチャー：「ウータンのチョイまじトーク③ ～原爆投下、その目的について～」(9/20)
 レクチャー：「ウータンのチョイまじトーク④ ～核実験被害の実態～」(9/27)
 レクチャー：「サムのわくわくNEWS」(10/10)
 レクチャー：「ウータンのチョイまじトーク⑤ ～原爆による残留放射線～」(10/14)
 レクチャー：「ウータンのチョイまじトーク ～総集編～」(10/16)
 レクチャー：「おりづるユースの1から講座①」(10/16)

レクチャー:「ウータンのチョイまじトーク ～英語ver.～」(10/18)
レクチャー:「おりづるユースの1から講座②」(10/18)
レクチャー:「サムのわくわくNEWS」(10/27)
レクチャー:「知らなきゃ恥ずかしい?! 選挙のキホン」(10/28)
レクチャー:「これでいいのか?! ニッポンの若者」(10/30)
レクチャー:「サムのわくわく政治講座番外編」(11/2)
レクチャー:「ウータンの若者講座 知っておこう! 原爆について①」(11/2)
レクチャー:「ウータンの若者講座 知っておこう! 原爆について②」(11/2)
レクチャー:「ウータンの若者講座 知っておこう! 原爆について③」(11/3)
レクチャー:「ウータンの若者講座 知っておこう! 原爆について④」(11/3)
レクチャー:「知っておこう!!ニュースのキホン」(11/3)
レクチャー:「ウータンの若者講座 知っておこう! 原爆について⑤」(11/6)
レクチャー:「ウータンの若者講座 知っておこう! 原爆について⑥」(11/6)
レクチャー:「その時、歴史は動いた ～おりづるゼミ開講式①～」(11/9)
レクチャー:「政治家選びのススメ」(11/9)
レクチャー:「はじめてのセンキョ」(11/10)
レクチャー:「おりづるゼミ②」(11/10)
レクチャー:「おりづるゼミ③」(11/12)
レクチャー:「おりづるゼミ④」(11/13)
レクチャー:「おりづるゼミ⑤」(11/14)
レクチャー:「ドナルド・トランプって誰??」(11/15)
レクチャー:「おりづるゼミ⑥」(11/16)
レクチャー:「おりづるゼミ⑦」(11/20)
レクチャー:「おりづるゼミ生講座 若者から若者へ」(11/21)

●詳細

ホームページ(日) <http://peaceboat.org/projects/hibakusha>

ホームページ(英) <http://peaceboat.org/english/?page=view&nr=83&type=28&menu=105>

ブログ(日) <http://ameblo.jp/hibakushaglobal/>

●メディア掲載情報(一例)
1)2016年9月4日掲載(インド)

വിശ്വാസ്യതയുടെ 105 വർഷങ്ങൾ
കേരളകൗമുദി
Monday, 05 September 2016 8:05 AM IST Online

1M Like

🏠 ലേറ്റസ്റ്റ് വിഡിയോസ് പ്രാദേശികം കേരളം ദേശീയം വിദേശം കാഴ്ചപ്പാട് കായികം

ഒന്നാം പേജ് / പ്രാദേശികം / എറണാകുളം PRINT THIS PAGE

നാഗസാക്കി , ഹിരോഷിമ ദുരന്ത ബാധിതർ ആലുവയിൽ
September 4, 2016, 1:08 am



ആലുവ: ആണവോർജം ലോക സമാധാനത്തിന് വെല്ലുവിളിയാകരുതെന്ന് പ്രതിപക്ഷ നേതാവ് രമേശ് ചെന്നിത്തല പറഞ്ഞു. വൈ.എം.സി.എ കേരള റിജിയന്റേയും, സീഡ്സ് ഇന്ത്യയുടേയും ആഭിമുഖ്യത്തിൽ സംഘടിപ്പിച്ച 'സമാധാന കോൺഗ്രസ് 2016' ഉദ്ഘാടനം ചെയ്യുകയായിരുന്നു അദ്ദേഹം. നാഗസാക്കി ഹിരോഷിമ ആണവ ദുരന്തത്തിലെ ജീവിച്ചിരിക്കുന്ന രക്ഷതാക്ഷികളായ മോരിക്കാവ തക്കാക്കി, താച്ചിബാന മിറ്റ്സുവോ, സക്കാഷിത നോരിക്കോ, ഹിഗാഷിനോ മരിക്കോ, ഫുക്കാഹോരി ജോഹ്ജി, ഫുക്കാഹോരി തോഷിക്കോ, തഗാവ ടൊയോക്കോ എന്നിവരാണ് സമാധാന കോൺഗ്രസിനെത്തിയത്. ഇവർക്കൊപ്പം യുവ പ്രതിനിധികളും ജപ്പാനിൽ നിന്ന് പരിപാടിയിൽ പങ്കെടുക്കാനെത്തി. വൈ.എം.സി.എ സംസ്ഥാന ചെയർമാൻ പ്രൊഫ. ജോസ് സി. ജോർജ്ജ് അധ്യക്ഷത വഹിച്ചു. സീഡ്സ് ഇന്ത്യ ഡയറക്ടറും ഇന്റർനാഷണൽ അസോസിയേഷൻ ഫോർ റിലീജിയസ് പ്രീസത്തിന്റെ മുൻ രാജ്യാന്തര ഡയറക്ടർ ഡോ. തോമസ് മാത്യു കുളങ്ങര സമാധാന സന്ദേശം നൽകി. ഡോ.എബ്രഹാം മാർ യൂലിയോസ് മെതാചൊലിത്ത അനുഗ്രഹ പ്രഭാഷണം നടത്തി. വൈ.എം.സി.എ സംസ്ഥാന ഉപാധ്യക്ഷൻ ഷിബു തെക്കുംപുറം സമാധാന പ്രതിജ്ഞ പാഠ്യം കൊടുത്തു. സമ്മേളനത്തിൽ വർഗീസ് ജോർജ്ജ് പള്ളിക്കര, സാജു ചാക്കോ, എജി എബ്രഹാം, നീമേഷ് കോവിലകം എന്നിവർ സംസാരിച്ചു. ഹിരോഷിമ നാഗസാക്കി രക്തസാക്ഷികൾ സ്കൂൾ വിദ്യാർത്ഥികളുമായി സംവാദം നടത്തി.

2)2016年10月5日(ロンドン)

NATIONAL

Hibakusha visit U.K. Parliament, call for nuclear-free world
KYODO

LONDON - A group of atomic bomb survivors on Tuesday shared their personal experiences of suffering and appealed for the abolition of nuclear weapons at an event hosted in the House of Lords in London.

Members of Parliament, nongovernmental organization officials and young students attended to listen to personal accounts from five hibakusha, from Hiroshima and Nagasaki, and had the opportunity to ask questions to the speakers.

The talk was part of a series of events organized by Japanese civic group Peace Boat, under whose auspices the atomic bomb survivors are traveling the world to share their message.

Takaaki Morikawa, who was 6 years old when the bomb fell on Hiroshima, spoke of his personal experiences of that day. He was 10 km away from the hypocenter, and was exposed to the radiation through dust, soot and the black rain.

Explaining how it has affected his and his family's lives, he called for the total abolition of nuclear weapons, saying "even one nuclear weapon is too many."

In July, the British Parliament voted to renew the country's aging nuclear weapons system, seen as key to maintaining Britain's status as a global power.

In remarks after the talk, John Dunn Laird, the member of the House of Lords who organized the event, said, "This has been a humbling experience.

"The more people who consider these questions, the more likely it is to be a peaceful world," he said.

The current Peace Boat voyage departed Japan on Aug. 18 and will visit 21 countries around the world. After a short stay in London, where they will also speak at a school, the group will continue the voyage to Europe and the United States.

OCT 5, 2016
ARTICLE HISTORY
🔗 PRINT 📄 SHARE

KEYWORDS
ATOMIC BOMBINGS, HIBAKUSHA, NUCLEAR WEAPONS, PEACE BOAT

NATIONAL

- Nagano farmer finds dead man buried on his land
- Chicago-Hong Kong United jet diverts to Narita to hand over man who tried to enter cockpit
- Defense Ministry hit by cyberattack; info may have been accessed
- Students gain journalistic experience from Olympic cultural program

3) 2016年10月22日(ニューヨーク)



Takaaki Morikawa | KYODO

Hibakusha join activists at U.N. event in calling for nuke ban treaty

BY SEANA K. HAGEE
KYODO

ARTICLE HISTORY | OCT 22, 2016

NEW YORK - Atomic bomb survivors from Hiroshima and Nagasaki joined anti-nuclear activists in New York Thursday where they voiced their concerns ahead of a General Assembly meeting that will vote on whether to ban nuclear weapons.

The resolution, to be voted on in the coming weeks, has the potential to break a decades-long

4) 2016年11月9日(メキシコ)